

佛法興隆に手を携えて



佛法興隆を誓い合う台下と法王

京都の社寺初 ダライ・ラマ14世法王公式参詣



佛旗を振って出迎える参詣者

チベット佛教最高指導者のダライ・ラマ14世法王 猊下（以下、法王）が11月9日、京都の社寺では初となる東山浄苑東本願寺（京都市山科区）への公式参詣を行いました。大谷暢順本願寺御法主台下（以下、台下）は法王と共に人類の仕合せを願い、佛法興隆に歩み出す共同声明を宣言しました。



カタを法王から掛けられる台下



修多羅袈裟を法王に掛けられる台下

東本願寺 130年ぶりにチベットとの交流再開



人生の目的とは仕合せになることです。釈尊も苦しみ抜き樂を与える佛法の道をお説きになりました。

その仕合せを得るには、恩を感じることが大切です。恩とは親兄弟夫婦の恩、師友の恩、衆生（他人）の恩、自然の恩です。恩を感じる心は即ち慈悲と思いやりの心です。

この心で我々は佛法にもとづき、よりよい社会、国家を造り世界中の人々が仕合せになるよう、努力していくことをここに声明します。

平成二十八年十一月九日

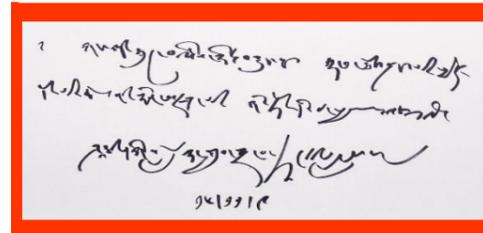
共同声明
於東山浄苑東本願寺

本願寺法主 大谷暢順

ダライ・ラマ法王十四世

大谷暢順

佛法興隆共同声明



法王が揮毫した佛語の扁額（チベット語）

相続塔寄進のご案内

◆申込先◆
東山浄苑東本願寺尚書（担当 富山、田中）
フリーダイヤル 01200231342

佛敎、神道等、諸宗教の交流と、人類の心の安寧を願って東山浄苑東本願寺に建立された相続塔。ダライ・ラマ14世法王もこの趣旨に賛同し、公式参詣を記念して刻銘しました。

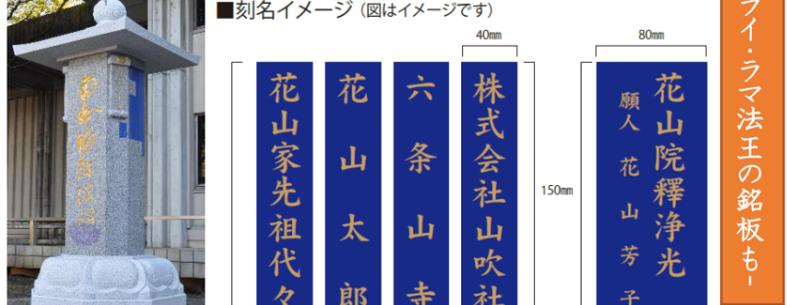
この勝縁から皆様には、神佛への感恩の思いを寄せていただく銘板の寄進をご案内します。

眞加金は1口30万円（銘板サイズ横40ミ×縦150ミ）からで、東山浄苑東本願寺納骨者を含め、広く有縁の方々にもお募りします。



台下に贈る佛語を揮毫する法王

■刻名イメージ（図はイメージです）



花山院釋浄光
願人 花山 芳子

株式会社山吹社
六条山寺

花山太郎

花山家先祖代々

日本、チベット佛教界のリーダー 感応道交の邂逅

人類の仕合せ願ってともに歩みを



万雷の拍手の中、佛法興隆声明を宣言

東本願寺は明治21年（1888）、第22世現如上人が日本で初めてチベットに使用僧・能海寛を派遣してダライ・ラマ13世法王に公式親書を送る等、日本佛教界に於けるチベット佛教との交流の先駆者でした。戦争等で途絶えたものの、今年に入って台王と14世法王が大阪で面談。法王から京都の社寺では初めてとなる公式参拝が申し入れされ、約130年ぶりに交流が再開されました。

法王は「活佛」、台王も「弥陀の代官」としてともに私たち衆生の「善知識」であり、その済度に向けた菩薩行に邁進してきました。東京での邂逅でも親鸞聖人が仰いだ七高僧の1人・龍樹菩薩の遺徳を偲んで、人類の心の安寧をどう導いていくか等、感応道交の意見交換を行いました。

この公式参詣には、会所の東山浄苑東本願寺嘉枝堂本堂に全国から約600人が

参集。「佛法が混迷する国際社会を照らす一筋の光明になることを」と述べた大谷光輪本願寺御門主台下の主催者挨拶で幕明けしました。

そして、法王を歓迎する京都きさら学園（京都市下京区）の幼稚園児による「ありがとうの花」の合唱で両師が入堂。満堂の参詣者が佛旗を振って歓迎し、両師は外陣で御本尊阿弥陀如来に参詣者とともに合掌しました。

会所は、子供たちを抱擁する法王の姿等から笑顔と法悦に包まれる中、園児と洛南小学校（京都府向日市）の児童が両師に花束を贈呈。外陣に用意されたソファに法王と台王が並んで座り、法王の「お言葉」と続きました。

法王は「21世紀を生きる佛教徒」として、佛法を論理的思考でとらえることを強調したほか、「仕合せになること」とは思いやりの心を持つことと説き、会場か

らの質疑応答にも応じました。

台王はこれを受け、「恩を感じる心が大切。恩を与える者と、恩を受けてそれを有難いと感じる者の両者の感応道交がなければ仕合せに成れない」と話し、両師は笑顔で手を取り合いました。

そして、両師による佛法興隆共同声明の署名に大きな拍手が贈られた後、法王がチベットから持参した釈尊坐像を台下に贈呈、台王は公式参詣を歓迎する感謝状を手交しました。

最後に法王からは、み佛への供物や貴人に贈るカタと呼ばれるチベットの白布を、台王は自ら考案した經典のサンスクリット語・ストラから命名した修多羅袈裟を互いに掛け合い、佛法興隆に歩み出す決意を誓い合いました。

この後、会場を移して大谷家による歓迎の昼食会では、法王が扁額にチベット語で佛語を揮毫しました。



チベットの佛像を台下に贈呈する法王



「恩を感じる心が大切」と説く台下



法王を囲んでの大谷家との記念撮影



佛教による人類の救いを意見交換



法悦に包まれた満堂の会所



合唱を披露した園児と触れ合う法王